

地域での農地維持活動の推進

都市的地域

ひがしおおも

23.東大友環境保全会（神奈川県小田原市）

- 東大友地域は、酒匂川と曽我丘陵との間に位置し、水稲、果樹、野菜を基幹とした複合経営が主に行われている。
- 高齢化する担い手が多く、農道整備や水路管理の負担が特定の農業者に集中してしまっている。活動組織を設立して以来、構成員が気概を持って活動している中で、この活動を次の世代へと引き継いでいくことが課題。

【地区概要】平成28年度開始

- ・取組面積9.12ha
（田5.8ha、畑3.32ha）
- ・資源量 開水路3.4km、農道2.8km
- ・主な構成員 農業者

農地維持支払

活動開始前の状況や課題

- 傾斜地ではみかんや梅が生産され、特に梅を通じて地産地消やブランド化を図っている。
- 地域の担い手が高齢化している中で、農業では収益を上げられず、後継者も他業種に就く者が多く、代替わりできず、営農できていない農地も増えている。



東大友地域の農地

取組内容

- 農道整備作業及び水路土砂浚渫作業を実施



農道沿いの草刈作業の様子



重機を利用した水路土砂浚渫作業の様子

取組の効果

- 当該交付金により、地域ぐるみの共同作業の大きな励みになっている。



農道・農業用施設の点検結果の報告と作業前の話し合い

- 共同活動は地域に浸透してきたが、作業の準備から事務作業まで、依然として、担い手農家に負担が集中しており、後継者の育成が課題となっている。